



～地域とともにある学校をめざして～

# 鯨コミ

R5 CS通信No.1 R5.4.18



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

## 地域の方々の協力による子供見守り活動

舞戸小学校では、今年度も、地域の婦人団体や町内会、社会福祉協議会等が連携・協力して子供見守り活動を行っています。毎週水曜日の午後3時頃、校門近くの横断歩道やJA付近の踏切、上野の五差路付近で、子供たちが通過するまで見守っています。子供たちは、見守り活動を行っている地域の方々に会うと、「こんにちは」「さようなら」と進んで挨拶をしていました。

子供たちの交通安全に地域の皆さんの協力がある、たいへんすばらしいことだと思います。



## 全校交通安全教室と3・4年自転車教室(西海小)

4/14 西海小では、鯨ヶ沢警察署と赤石駐在所のお巡りさんの指導で、全校で交通安全教室を行いました。

始めに、赤石駐在所のお巡りさんが、飛び出しが原因の交通事故のお話と後ろの席でも必要なシートベルトのお話を紙芝居で披露しました。

子供たちは、交通事故の原因やシートベルトの必要性について考え、質問に答えていました。

全校で紙芝居を見た後は、低学年・中学年・高学年に分かれて交通安全教室を行いました。

中学年(3・4年)は、自転車教室を行いました。

子供たちは、後方の安全確認をしてから自転車に乗ったり、S字のコースをはみ出さないように自転車で走行したりしていました。

最後に、鯨ヶ沢警察署のお巡りさんから、「今日は練習ですが、実際に道路に出たときに安全に乗るように頑張ってください。」

と励ましの言葉がありました。

子供たちからは、「安全のために、ヘルメットをつけて乗りたい。」「周りをよく見て安全確認をしっかり行いたい。」という感想がありました。



## 道路を歩く時のルール(舞戸小1・2年)

4/14 舞戸小では、低学年を対象に道路を歩く時のルールを覚え、交通事故にあわないようにすることを目的に交通安全教室を実施しました。

舞戸駐在所のお巡りさんから、

「信号が青でも左右の安全を確認してから渡りましょう。」「信号のない横断歩道では、自分で左右の安全を確認してから渡りましょう。」

等と指導を受け、子供たちは、交通事故にあわないように、真剣に歩く練習を行っていました。

2年生は、1年生のお世話もがんばりました。



社会教育推進 DC の藤田です。

このコミュニティ・スクール通信では、地域の人々と関わりのある教育活動や学校運営協議会事業を紹介していきます。

今年度もよろしくお願ひいたします。